

8月25日は 総合防災訓練です



▲防災マップで避難経路や避難場所を確認する
災害図上訓練。通称D I G(ディグ)訓練

想定外に対応できる力を身に付ける

県は第4次地震被害想定で、マグニチュード9程度の大地震により市内でも甚大な被害が出ると発表しました。

大災害が発生したときには、自分で自分の身を守る「自助」が第一です。同時に地域や身近にいる人たちが助け合う「共助」も、大きな力となります。日頃から地域の活動に目を向けて、みんなで地域防災力を上げましょう。

災害を対岸の火事と考えないで

いざという時に慌てず行動するためにも、何をすればよいのか定期的に家族で話し合いの時間を持ちましょう。避難場所や安全な避難経路を確認したら、家族用の防災マップを作成しておきましょう。家族が離れているときに災害に遭った場合の緊急連絡先や、災害用伝言ダイヤルなどの関連情報も紙に記入し、家族全員が常に持ち歩くようにしましょう。

家庭ごとに必要なものはちがいます 各家庭で話し合い「もしも」の時に備えましょう

▶ 1次持ち出し品 (地震発生後すぐに持ち出す物)

- ☐ 飲料水 ☐ 携帯ラジオ ☐ 懐中電灯 ☐ 貴重品
- ☐ 応急医薬品 ☐ 現金(硬貨も) ☐ 笛 ☐ 持病の薬
- ☐ ヘルメット ☐ ティッシュペーパー ☐ タオル
- ☐ 軍手 ☐ マスク ☐ 生理用品 ☐ ライター・マッチ
- ☐ 乾パンなどの非常食料 など

※いざという時に、すぐに持ち出せるよう非常持ち出し品袋などにまとめておく。発災時には、慌てて持ち出さなくてもよい。まずは、身の安全を確保することを最優先する。

▶ 2次持ち出し品 (地震が落ち着いたら持ち出す物)

- ☐ 飲料水 (1人1日3ℓが目安)
- ☐ 非常食料 (乾パンやアルファ米、缶詰、チョコレート

ト、ビスケット、インスタント食品など)

- ☐ 洗面用具 ☐ 燃料(卓上・携帯コンロ、ガスボンベ、固形燃料など) ☐ 寝袋 ☐ ラップ・アルミホイル
- ☐ 雨具 ☐ ガムテープ など

■赤ちゃんがいる家庭は

- ☐ ミルク ☐ 哺乳瓶 ☐ 離乳食 ☐ 着替え ☐ オムツ
- ☐ バスタオル・ガーゼ ☐ スプーン ☐ 除菌ティッシュ ☐ 抱っこひも・おぶいひも など

■夜寝ている時に起こることも

災害はいつ発生するか分かりません。寝ている時に起こることもあります。身近なところに靴や懐中電灯、着替えなどを置いておきましょう。

■消火器や救助用具の準備も

地震で怖いのは、火災による二次災害と言われています。消火器を目立つところに準備し、防災訓練などで操作方法を確認しておきましょう。また、家屋が倒壊したときの救出活動に、大工道具(のこぎりやバール、ハンマー、スコップなど)が役立ちます。